

**令和5年度第2回  
ソフトピアジャパンセンター等指定管理者評価員会議実施概要**

○日 時：令和6年3月4日（月） 15時00分～16時30分  
○会 場：ソフトピアジャパンセンター 会議室4

1 令和6年度事業計画書について

【指定管理者】説明

2 主な質疑応答・意見

【評価員】エリア内の分譲地の空き地は駐車場として有効活用できるのか。

【県】大規模なイベントが開催される際に駐車場が不足する際には、空き分譲地を駐車場として一時利用することは可能であると考えている。ただし企業誘致活動が優先される。

【評価員】（外国人労働者向けに）日本語教育や岐阜県の文化教育など、入居企業共通のプラットフォームがあると良い。

【評価員】賞味期限を迎える非常食等の防災備品の取扱いについてはどのように考えているか。

【指定管理者】食べ物についてはフードバンクに預けている。水は生活用水としては使用可能であるため、引き続き保管している。

【評価員】指定管理者から様々な情報提供をしたり、（ビジネスマッチングの）機会を作ったりすることも大切だが、既存の枠組み（商工会議所や法人会など）を案内するのも一つの手だと思う。

【評価員】どこか地域のコミュニティ（商工会議所や法人会など）と繋がっていることが、企業にとってプラスであるという案内を是非してほしい。

【評価員】障がい者の雇用が困難だという状況だが、市内の福祉施設の作品を販売するなど、雇用以外での福祉に貢献する方法を積極的にとられることを望む。

【評価員】（県営住宅について）利用者の増加に向けての広報だけでは限界があるかもしれない。減免対象を増やすと直接の増収に結び付きにくいかもしれないが、公的施

設の役割もあるため、入所者の負担減になる取組があってもよいのではと思う。

【評価員】（県営住宅について）コロナ禍の影響もある中、適性に行われている。今後退去者を減らすための減免の取組などが求められるのではないかと。

### 3 講評

- ・企業の運営で重要であるのは「自助」、「共助」、「公助」である。何らかの仕掛けを生み出さなければ、箱物としてのソフトピアを活かすことができないので、よりよい政策を打ち出していただきたい。
- ・入居者のニーズがかなりまちまちであり、支援機関側が思っていることとの隔たりがまだあると感じる。指定管理者だけが四苦八苦するのではなく、（商工会議所や法人会といった）諸団体をうまく活用しながら進めていけると良いと思う。また、施設開館から30年近くが経つため、いかに上手にリニューアルができるかが大切であると感じる。
- ・生成AIの登場によって、先端技術に対する需要が高まりつつある状況の中で、いかに県内企業の需要を県内のIT企業がカバーするかが重要であると思うし、地元の需給を結び付けるのがソフトピアジャパンの役割であると思うので、こういった役割を期待している。

### 4 評価結果

令和6年度ソフトピアジャパンセンター等指定管理業務に係る事業計画は適当であると認める。